

降る雪を仰ぎし児らの鼻赤し
 旭町 大河 博子

初雪におびえし猫の白毛かな
 旭町 大河内清枝

風向のくるくる変わる師走かな
 西町 岸波 君江

ひっそりと越していかれし草紅葉
 藤本町 高井 孝子

初雪の忽ちにして積りけり
 東町 高草木喜代子

真新し冬靴並ぶ婦人会
 西岡町 高瀬久美子

ことごとと冬至南瓜の煮ゆるかな
 東町 高橋世津子

師走きて手の空く暇なし厨事
 西町 文梨 清子

はればれと新年むかえ感謝の陽
 西町 前橋 芳香

遠き日の馬籠行きかふ年の暮
 西町 金澤 頼子

直向きに生きて六十路の師走かな
 元町 印牧 安子

一村を一夜の変貌銀世界
 緑町 齋藤 嘉子

初雪やでんぐり返しの光子逝く
 仲町 坂部 和子

一年の命の区切り除夜の鐘
 屯田町 古屋 克江

お歳暮の鮭を切身に娘にも分け
 元町 西崎 弘子

柚子風呂に心のもつれほぐれけり
 南桜町 宮腰 幸子

積迦牟尼佛生老病死成道会
 仲町 徳井 隆男

去年今年心の紐も固結び
 屯田町 伊藤 タカ

惜しまれし芸道半ば花吹雪
 元町 竹内スミエ

極月や浮世の様を憂ひけり
 西岡町 渋谷みさ子

歩まねば明日がないよと雪諭す
 仲町 梅基 敬子

半世紀遠きを偲び夜長かな
 旭町 大河 茂

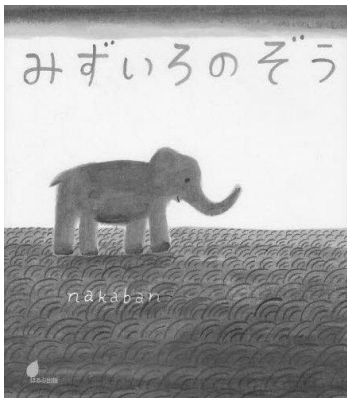
北風や宅配便のメモ温し
 仲町 玉野 研一

寄せ鍋の大きさ余る二人かな
 旭町 宝澤 房子

明けやらぬ除雪に挑む子の背中
 西岡町 児玉 洋子

細雪地蔵手編みの紅衣
 藤本町 池田 良子

存らへて生きむパワーの三平汁
 仲町 芳賀 星子



『みずいろのぞう』
 nakaban 作
 ほるぷ出版

広い野原をいつもひとりぽちで過ごしていた「みずいろのぞう」さんが、「遠く」を目指して歩き始めました。りんごの木というお供にも出会い、新しい世界へ旅あるぞうさんは、どこまで歩き続けるのでしょうか。

information 絵本の館から



今月のおすすめ絵本

新着図書

- ・食を考える(佐藤洋一郎 著)
- ・間抜けの構造(ビートたけし 著)
- ・家族を看取る(國森康弘 著)

ほか



『おしおし!』
 林 木林作
 田中六大絵
 あかち書房

将来の夢はお寿司屋さんのおしおくと一緒に、ことば遊びをしながら修業を始めましょう。だじゃれ、回文、しりとりなどで、いろいろなお寿司が出てきます。気になる寿司ネタは、今度お店で頼んでみましょうか。